

# JIS

UDC 665.761.6

K 2231

## 流動パラフィン

JIS K 2231 -1993

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 5 年 6 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 資源エネルギー部会 パラフィン・ワックス専門委員会 構成表 (昭和55年3月1日改正のとき)

	氏名	所属
(委員長)	竹田 政 民	東京理科大学
	加藤 昭 六	資源エネルギー庁石油部
	大高 英 男	通商産業省基礎産業局
	野口 昌 吾	通商産業省産業政策局
	田村 忠 男	工業技術院標準部
	阿部 敏 次	工業技術院公害資源研究所
	根来 一 夫	社団法人石油学会
	五十嵐 清 一	株式会社レンゴー中央研究所
	大山 松 二	精工化学株式会社
	石原 昌 具	東鐘興業株式会社
	野口 勝 一	日本専売公社中央技術研究所
	青木 哲 也	東洋曹達工業株式会社東京研究所
	堤 恭 男	日本石油株式会社商品技術部
	鎗田 幸 雄	東洋ベトロライト株式会社千葉工場
	高松 義 房	日本ワックス工業会
	露木 重 彦	東亜燃料工業株式会社製品開発部
	府瀬川 健 蔵	日本精蠟株式会社企画調査部
(関係者)	菊地 習 作	日本流動パラフィン工業会 (株式会社松村石油)
(事務局)	黒河 亀千代	工業技術院標準部材料規格課
	小沢 祥 浩	工業技術院標準部材料規格課
(事務局)	時山 聖 司	工業技術院標準部材料規格課 (昭和58年3月1日改正のとき)
	宮崎 正 治	工業技術院標準部材料規格課 (昭和58年3月1日改正のとき)
(事務局)	宮本 幸 夫	工業技術院標準部材料規格課 (平成5年6月1日改正のとき)
	小嶋 誠	工業技術院標準部材料規格課 (平成5年6月1日改正のとき)

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和32.12.18 改正：平成5.6.1

官 報 公 示：平成5.6.14

原案作成協力者：日本流動パラフィン工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会 (部会長 福原 元一)

審議専門委員会：パラフィン・ワックス専門委員会 (委員長 竹田 政民) (昭和55年3月1日改正のとき)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課(〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1)へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 流動パラフィン

K 2231-1993

## Liquid paraffin

1. 適用範囲 この規格は、工業用の流動パラフィンについて規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 2001 工業用潤滑油—ISO粘度分類

JIS K 2251 原油及び石油製品—試料採取方法

JIS K 2252 石油製品反応試験方法

JIS K 2265 原油及び石油製品引火点試験方法

JIS K 2269 原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法

JIS K 2283 原油及び石油製品—動粘度試験方法及び粘度指数算出方法

JIS K 2513 石油製品—銅板腐食試験方法

JIS K 2580 石油製品色試験方法

JIS K 8102 エタノール(95) [エチルアルコール(95)] (試薬)

JIS K 8129 塩化コバルト(II)六水和物(試薬)

JIS K 8142 塩化第二鉄(試薬)

JIS K 8180 塩酸(試薬)

JIS K 8951 硫酸(試薬)

JIS K 8983 硫酸銅(II)五水和物(試薬)

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

2. この規格の中で { } を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって規格値である。

なお、これらの従来単位及び数値は、平成7年4月1日以降参考とする。

2. 種類 流動パラフィンの種類は、JIS K 2001に規定する粘度分類によって分け、表1に示す5種類とする。

3. 品質 流動パラフィンは、無色透明で蛍光のない石油製品で、水及び沈殿物を含まず、4.によって試験を行い、表1の規定に適合しなければならない。